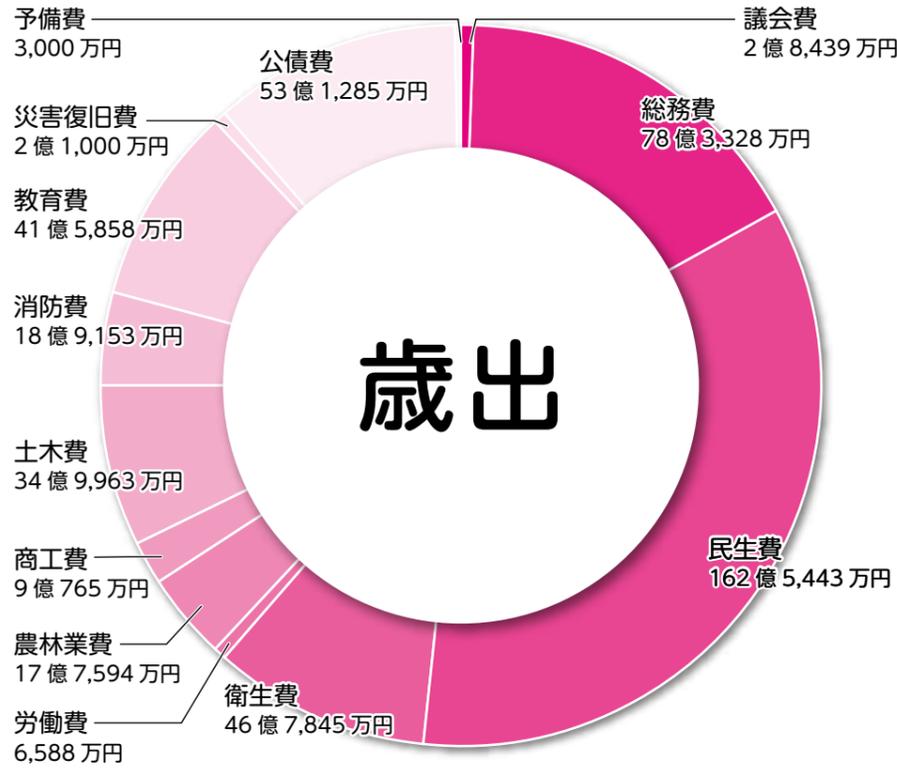


会計別内訳

会計名	予算額	伸率(%)
一般会計	469億 261万円	0.9
特別会計	国民健康保険事業	87億 9,945万円 △ 2.7
	(事業勘定)	(87億 2,777万円) △ 2.7
	(診療所費)	(7,168万円) △ 7.5
	駐車場事業	3,775万円 △ 13.9
	介護保険事業	106億 1,603万円 0.3
	サービスエリア	888万円 2.0
	後期高齢者医療	16億 713万円 3.9
小計	210億 6,924万円 △ 0.8	

会計名	予算額	伸率(%)
企業会計	病院事業	61億 4,008万円 4.3
	水道事業	56億 1,501万円 12.4
	下水道事業	46億 1,285万円 11.0
小計	163億 6,794万円 8.9	
財産区特別会計	島ヶ原財産区	3,052万円 0.0
	大山田財産区	1,297万円 0.3
	小計	4,349万円 0.1
合計	843億 8,328万円 1.9	

※端数処理の関係で各科目と計が一致しないことがあります。



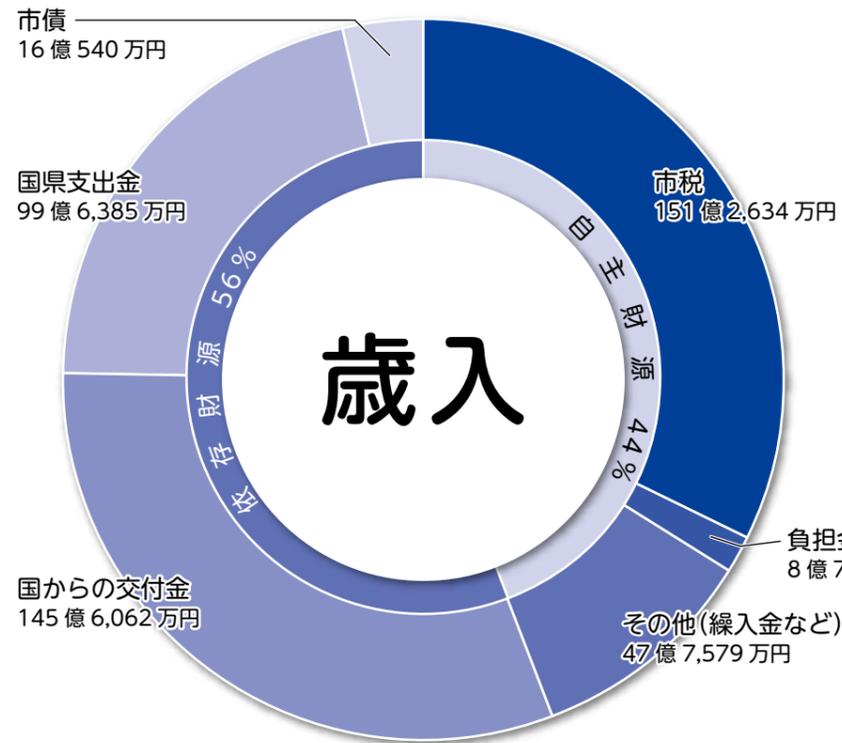
令和7年度 当初予算

をお知らせします
「継承と変革・伊賀の夜明け予算」

今年度は、第3次伊賀市総合計画や伊賀市子ども計画などが策定され、新たな伊賀市がスタートする節目の年です。

本予算では、「こどもが育つ、大人も育つ」「持続可能なまちを未来へ」「対話からはじまる参加と協働」の3つのテーマを掲げ、地域の課題解決と持続可能なまちづくりに取り組んでいきます。

【問い合わせ】 財政課 ☎22-9608 FAX24-2440



令和7年度の 一般会計 469億 261万円

※自主財源…地方公共団体が自主的に収入できる財源
※依存財源…国や県からもらう交付金など

用語の解説

◆歳入の部

【市税】 個人市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税など、市民の皆さんに納めていただく税

【負担金・使用料】 市が行う事業に対する地元負担金や施設の使用料など

【繰入金】 基金の取り崩し金や他会計からの繰入金

【国からの交付金】 市の実情にあわせて国から交付される地方譲与税、地方交付税など

【国県支出金】 国や県からの負担金や補助金、委託金

【市債】 市が主に建設事業に充てる借金

◆歳出の部

【議会費】 議員報酬や政務活動費など、市議会の運営に関する経費

【総務費】 庁舎管理など行政内部に関する経費や、地域振興、住民自治、人権啓発、防災関係などの経費

【民生費】

老人福祉や保育所の運営管理、医療費助成、生活保護費など、福祉全般に関する経費

【衛生費】

ごみ収集経費や、乳幼児・高齢者などの予防接種に関する経費など、環境対策や清掃事業、健康推進などに関する経費

【労働費・農林業費・商工費】

農業・商工業団体への助成や観光に関する経費など、労働・産業に関する経費

【土木費・災害復旧費】

道路、公園、市営住宅などの維持管理や建設に関する経費や、災害により破損した道路などの復旧に関する経費

【消防費】

消防、救急活動、防火水槽などの防災基盤整備、消防団本部の運営に関する経費

【教育費】

市立の小中学校、幼稚園の管理運営に関する経費や、文化財の保全、スポーツ振興、青少年育成などの経費

【公債費】

市が主に建設事業のために借り入れた市債の償還に関する経費

【予備費】

地方自治法で設けることが定められており、他の科目で予算執行できない場合に支出する経費

対話からはじまる 参加と協働

- 市民と対話を重ね、課題の解決を進めます。
- 市民とともに「公共のかたち」を再構築します。
- 近隣自治体や国・県と連携し、広範な課題に対応します。

【主な新規事業】

- 市民の意見を積極的に収集するため、第4期eモニターを募集する 157万円
- 地域おこし協力隊の定住促進と市の活性化を図るため、住宅の改修に要する費用に対して補助を行う 50万円



秘書事務管理経費	580万円
広報作成等業務経費	3,238万円
移住・交流推進事業	5,646万円
三重大学伊賀連携フィールド事業	271万円
住民自治協議会推進経費	1億3,417万円
地域活動支援事業	209万円

基金と市債の状況

【基金】（市の貯金）市民一人あたり約19万円



市の貯金である基金は、各事業を行うにあたり、約26億2千万円を取り崩す予定です。

また、財政調整基金や伊賀市ふるさと応援基金などへ約14億7千万円を積立てるため、令和7年度末の基金残高は約160億円の見込みです。

【市債】（市の借金）市民一人あたり約50万円



市の借金である市債の令和7年度末の残高予定額は、令和6年度に比べ約35億円減の約423億円の見込みです。

こどもが育つ、 大人も育つ

- すべてのこどもが安心して学び、成長できる社会を実現します。
- 大人にも多様な学びやチャレンジの機会を提供します。
- 地域の活力を担う人材を育て、未来へつなげます。

【主な新規事業】

- 中学校3年生を対象に、尿中ヘリコバクター・ピロリ菌検査を実施する 265万円
- 保育所施設内外の用務作業等に従事する
「きらり☆みんなの“えがおサポーター”」を配置する 2,944万円
- フリースクールを利用する児童生徒の保護者に対して、利用に要する費用を補助する 240万円

【主な拡充事業】

- 子ども医療扶助費の対象を18歳まで引き上げ、医療費を助成する 2億7,614万円



私立保育所等運営費	16億4,074万円
地域とともに学校マニフェスト推進事業	1,331万円
生涯学習啓発推進事業	7,414万円
同和教育研究推進事業	1,038万円
図書館管理経費	1億5,490万円
給食センター管理運営経費	6億8,535万円

持続可能な まちを未来へ

- 防災・減災や地域の安全確保を重視します。
- DX（デジタルトランスフォーメーション）とGX（グリーントランスフォーメーション）を推進し、新たな価値を創造します。
- 地域資源を活用し、にぎわいと持続可能な経済基盤を築きます。

【主な新規事業】

- 青山ホールの駐車区画と、ケヤキを活用した市民が憩える緑地を整備する 1億848万円
- 斎苑の空き状況の確認や、施設予約ができるウェブシステムを導入する 440万円
- 自伐林家等が行う林業機械の導入・レンタル、資格取得等に対して補助を行う 300万円

ごみ収集経費	5億888万円
ごみ中継施設維持管理経費	7億5,653万円
ふるさと応援事業	4億115万円
きょうりょう 橋梁長寿命化修繕事業	3億1,182万円
印代山神線（山神橋）橋梁架替事業	2億2,165万円
旧上野市庁舎活用事業	5億9,157万円

